

令和3年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係	保健センター
------	--------

事務事業名	骨髄等移植ドナー助成事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	政策	② ひとりひとりが輝けるまちづくり	款	4	衛生費	
	基本目標	5. 健やかな暮らしづくり	項	1	保健衛生費	
	施策	5-1 健康づくりの推進	目	1	保健衛生総務費	
	基本方針	5-1-2 健康づくり環境の整備	事業	14	骨髄等移植ドナー助成事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	骨髄バンクを介して骨髄等を提供したドナーを対象に休業補償費の助成制度を令和3年度より創設する。	事業の内容	ドナーへの休業補償として休業一日につき2万円を助成（上限7日間）するほか、提供ドナーの雇用事業所に5万円/回を助成する。
-------	---	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位	実績	実績	目標	目標
	助成申請の受付数	件	R2	R3	R4	R5
	指標の説明		目標	7	7	7
ドナーの休業補償における助成日数	実績	---	0			
		R2年度決算	R3年度決算	R4年度予算	市民一人あたりのコスト	
関連事業費	事業費	0	0	190,000	R2	0
	国県支出金		0	95,000	R3	0
	地方債				各年度4月1日現在の人口	
	利用者負担・その他				R2	37,243
	一般財源		0	95,000	R3	36,670

■評価（CHECK）

事業の方向性	拡充	縮小して継続	判定理由	より多くの移植につながるよう、骨髄バンク事業におけるドナーの負担を軽減することによりドナー登録者の増加を図るためには、本事業を継続して実施していく必要がある。
	改善・効率化し継続	休止・廃止		
	○ 現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	骨髄バンクドナー登録の推進および当該助成事業の周知・啓発活動に努める。
今後の方向性	骨髄等を提供しやすい環境を整備することで、ドナー登録者の増加につながることを期待できる。